

7 年度事業計画書 <あじさい園居宅介護支援事業所>

テーマ：ICTの導入により、働き甲斐のある職場づくりを行い、安全・安心あるサービスの提供と質の高いケアを目指す

サブテーマ：ICTの活用を取り入れ煩雑な作業の時間を減らし、利用者さんと向き合う時間や多職種との円滑な連携や質の向上にて視座を高める。

1. 情報漏洩対策を周知し、ICTのメリット（効率化、情報共有、介護の質向上）を活用できる

- ①ICTの活用を取り入れ煩雑な作業の時間を減らし、利用者さんと向き合う時間や多職種との円滑な連携等の支援の時間を増やすことにつなげる。
- ②ヤングケアラーやダブルケア、仕事と介護の両立問題など地域の自治体や障害サービス、社会保障制度の活用にて各専門機会との連携にて解決を図る。
- ③BCP計画に沿って訓練を実施し、地域の対策・支援より地域資源の担い手を発掘する。

2. 通院、入院時から適切に状態を把握するため医療との連携強化

- ①在宅情報共有ネットワーク、ケアカルテを使用し、主治医や他種職とリアルタイムで連携を図る。
- ②入院時情報連携時は利用者の今後の在宅生活につながるよう情報共有おこなう。
- ③コロナウイルスやインフルエンザ感染症の発症後にADLや物忘れの低下が著しく、その改善方法を見立てできるだけ早期に対応し低下予防に努める。

3. 資質や技術の水準を常に向上できるように努める

- ①家族に対する介護等を日常的に行っている児童や障害者、生活困窮、難病患者など高齢者以外の対象者への支援をサポートし、関係者に繋げるための知識向上に努める。
- ②インフォーマルサービスを含む生活支援の包括的に提供されるプランを作成する。
- ③計画的に研修に参加、新人研修の受け入れ。定期的に他の居宅介護支援事業所や包括支援センターと協力をして事例検討会を共同で開催する。